

# 議 事 概 要

【 名 称 】	第3回前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会
【 日 時 】	令和6年10月1日（火）午後2時30分～午後4時20分
【 場 所 】	前橋プラザ元気21 506学習室
【出席者】	
会 長	細 谷 精 一 前橋市副市長
副 会 長	杉 崎 光 広 国土交通省高河川国道事務所長(代理) 後 藤 剛 群馬県県土整備部技監 飯 塚 佳 雄 前橋市都市計画部長（前橋市アーバンデザイン協議会会長）
委 員	堀 込 隆 邦 前橋市自治会連合会桃井地区代表理事/紅雲町二丁目自治会長 松 澤 正 幸 前橋市自治会連合会中央地区代表理事/表町一丁目自治会長 塚 本 茂 二 大手町一丁目自治会長 山 賀 博 本町一丁目自治会長 山 田 光 夫 表町二丁目自治会長 石 川 靖 前橋商工会議所副会頭 平 方 宏 前橋商工会議所 常議員 まちづくり専門委員会委員長 植 木 修 前橋中心商店街協同組合理事長 阿佐美 忍 前橋市未来創造部長
アドバイザー	谷 川じゅんじ J T Q株式会社 代表取締役 橋 本 薫 前橋まちなかエージェンシー代表理事
オブザーバー	金 井 亘 群馬県県土整備部都市整備課長 松 井 紀 群馬県県土整備部前橋土木事務所長 五十嵐 紳一郎 前橋市都市計画部市街地整備課長 村 井 誠 志 前橋商工会議所常務理事 兼 事務局長
事 務 局	群馬県都市整備部都市計画課 前橋市都市計画部都市計画課

## 1. 開会挨拶（事務局）

## 2. 資料説明

- ・第3回前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会【資料1】
- ・前橋クリエイティブシティ 県庁-前橋駅都市空間デザイン 国際コンペティション【資料2】

## 3. 意見交換（要点）

### (1) 【委員からの意見】

- ・本構想の実現のため、地域住民の意見が重要だと感じる。

### (2) 【委員からの意見】

- ・前橋駅からまちなかまで歩くことを市民が敬遠する要因として、本町二丁目五差路交差点を越える必要があることが挙げられる。当該交差点が改良されることにより、駅前通りにおけるにぎわい創出などの効果を期待する。
- ・奈良や京都など文化的に発展しているまちは道路環境が整っているケースが多く、前橋もそのような街になることを期待している。

### (3) 【委員からの質問】

- ・沿道沿いの敷地が将来どのようなようになるか予測できない部分もあると思うが、「道路」をメインとする今回のコンペにおいて、どのようにデザイン案を求めるのか伺いたい。

#### 【事務局からの説明】

- ・本コンペの対象は道路部分であるが、沿道部分についても、前橋市のアーバンデザインで示されたガイドラインを踏まえた形で、道路と一体的なデザインとなるように、提案を求めたいと考えている。

### (4) 【委員からの意見】

- ・道路から後退して建築しているマンションもあるため、空地を本構想で活用できるよう、沿道の民間企業と連携しながら計画を進めていただきたい。
- ・通勤や通学において電車運行本数が少ないとの声がある一方、駅前マンションの建設により駅利用者の増加が見込まれることから、自動運転バス等を活用し、JR前橋駅と高崎駅をシャトルバスなどで結ぶ仕組みがあれば、地元として便利だと感じている。

#### 【前橋市未来創造部長からの説明】

- ・新たな前橋市公共交通計画の策定に向けた会議の中で、「公共交通を持続可能なものにするための議論」を運行事業者と行っており、引き続き公共交通の利用促進につながる交通計画を作っていきたいと考えている。

### (5) 【委員からの質問】

- ・当該交差点を四差路化することにより、三角形の「創出空間」が生ずるが、沿道敷地の出入りはどのように考えているのか。

#### 【事務局からの説明】

- ・車や人の出入り等は、提案時の配慮事項として募集要項に記載する予定である。
- ・関係者の方々とはコンペの結果をもとに個別の調整を行いたい。

### (6) 【委員からの意見・質問】

- ・本町二丁目五差路交差点の信号と車の流れはどのようなになるか。
- ・当該交差点は交通量が多く渋滞が発生しやすいが、四差路化することによって本当に交通を処理することができるのか心配である。

#### 【事務局からの説明】

- ・当該交差点は四差路化によって、新しく十字路交差点のような形状とする方向で検討しているが、具体的な交差点の形状や信号処理の方法等については、コンペにおいて提案を求めたいと考えている。
- ・国道50号の通過交通を市道01-176号線へ転換するため、当該市道の拡幅（四車線化）

を想定している。このことを前提にデザインの提案を求めるとともに、地元関係者と調整しながら進めていきたいと考えている。

**(7) 【委員からの意見】**

・幅員の広い道路が整備されることでまちが分断されることを懸念するため、交差点改良により地域が二分されてしまうのではないかと不安に感じる。

**【事務局からの説明】**

・スムーズに横断できる交差点計画の案も、提案者に求めていきたいと考えている。

**(8) 【委員からの質問】**

・本町二丁目五差路交差点を四差路化する案は、処理がシンプルで良いと思うが、整備に伴う影響範囲はどのようになるのか。

**【事務局からの説明】**

・本コンペにおいて、当該交差点を四差路（十字路）とすることを前提条件としているが、四差路化に伴う具体的な影響範囲については、現時点では決まっていない。

**(9) 【委員からの意見】**

・集客が見込めるイベントの実施などを通じて、地区の賑わいが取り戻されることを期待している。

**【会長からの意見】**

・賑わいの創出に向けて、空き店舗や空きビルの機能更新が必要だと思う。

**(10) 【委員からの意見】**

・人は目的があって行動するものと考えられることから、「通りを歩いて楽しい」と感じてもらうためには、前橋駅から沿道にかけて、歩きたくなる店やイベントなどを配置し、「歩く目的」をつくることが重要であると感じる。

**(11) 【オブザーバーからの意見】**

・本コンペによって良い提案が出てくることを期待しているが、前橋市アーバンデザインや商工会議所が提唱する「Gleen&relax」との整合性が重要だと思う。

・デザインを重視した提案となった場合、本町二丁目交差点の交通課題などが十分に整理・解消されない計画となることを懸念する。

・前橋に住んでおらず当該交差点を利用したことがない人達からの提案も想定されるため、地元の人々が課題と感じている点は事前に共有しておく必要があると感じる。

**【事務局からの説明】**

・「前橋市アーバンデザイン」や「前橋ビジョン」、また商工会議所の「Gleen&relax」と整合したデザインになるよう、本コンペ要項に記載している。

・外部の提案者に向け、デザインのみを重視する提案とならないように、地域の人々が求めるまちづくりに関して配慮する事項を募集要項に記載し、総合的に評価していく予定である。

「まちづくりに関して配慮する事項」について会長が出席者に確認を行い、「国際デザインコンペの開催」及び同事項について、出席者全員の賛同が得られた。